

## アイデアで道を開く

～日常・社会生活で数学的なアイデアを活かす取組～

田 中 慎 一 郎

(天草アイデアルーム代表)

### 1. はじめに

私は平成三十年三月に、三十七年間勤務した小中学校の教職員を定年退職し、翌年一月に天草アイデアルームを起業しました。その理由は、昔からアイデアを考えたり、集めたりするのが好きだったからです。そして、長い間関わってきた算数・数学の考え方を日常や社会生活にを活かして、いろんな方を幸せにできないか、社会のお役に立てないか考えたからです。

また、今の数学教育は、実生活の必要性から課題を解決していく科学精神を育てる側面が忘れがちで、どうしても受験を意識した数学教育になってしまいます。そんな中で少しでも本来の目的や学ぶ意義を知っていただく機会になればと考えたからです。

設立にあたってはアマビズの内山様をはじめいろんな方に相談し、またいろんなアドバイスをいただきながら今日に至っています。まだ一年半の取組ですので、充分成果が出ているとは言えませんし、運営が軌道に乗っているとは言えませんが、今回このような機会をいただきましたので、大変未熟ですが、その一端を紹介させていただきます。

### 2. 悩み(課題)と5つのキーワード

天草アイデアルームでは、いろんな企画、困りごとなど仕事に関係することからプライベートなことまで、日常社会の事象に対応しています。

今までの利用内容は、電話、メール、出張、レポートを含めてのべ二〇件ぐらいです。内容は、地域づくり、子育て、起業、仕事、家庭定年後のセカンドライフ、人間関係などいろんな分野があります。みんな悩みや課題を抱えています。インターネットで調べたり、専門機関に聞いたりすると解決することもあります。最後は自分の判断や解決力にかかってきます。そんなときはアイデア、発想が道を開くと思います。当ルームでは、数学での解決の仕方を社会での解決の仕方に活用する五つのキーワードを用意しています。成果が出るためには、課題の焦点化、数学的な考え方、既存のアイデアの活用、孵化する時間、伴走者の存在が必要です。

詳しいことはこれから説明していきます。

### 3. 世界・日本のアイデア発想

アイデア発想については世界中に認められていていくつかの代

表的な本があります。

・DESIGN THE FUTURE (斬新のつくり方) ・アイデア発想法 16

・仕掛け学 (人を動かすアイデアのつくり方) ・ジェームズ、ダブル、ヤングのアイデアのつくり方 ・アイデア大全 (創造力とブレックスルーを生み出す42のツール) ・アイデアバイブル (創造性を解き放つ38の発想法) ・AI時代「超」発想法「五つの法則」

私も乱読ですが読ませていただきました。どの本も素晴らしい本です。



特に「アイデアのつくり方」は誰もがすぐ読めて愛読書にできる内容です。これらの本で共通しているポイントがあります。それは既存のアイデアや要素を活かして新しいアイデアを発想することです。

あえてマイナス面を言わせてもらおうとアイデアの具体例がほとんどありません。会社の会議での発想法が多く、会社以外のできごとやマイナス事象を乗り越えていくための発想法がないことでした。私の発想法も全国規模、世界規模のことにはもちろん歯がたちませんが、身近な社会生活の分野については仕事のことから私生活のことまで幅広く対応できるかなと思っています。

それは背景に数学的な考え方を活かしているからです。

数学的な考え方というと難しいイメージがありますが、わかりや

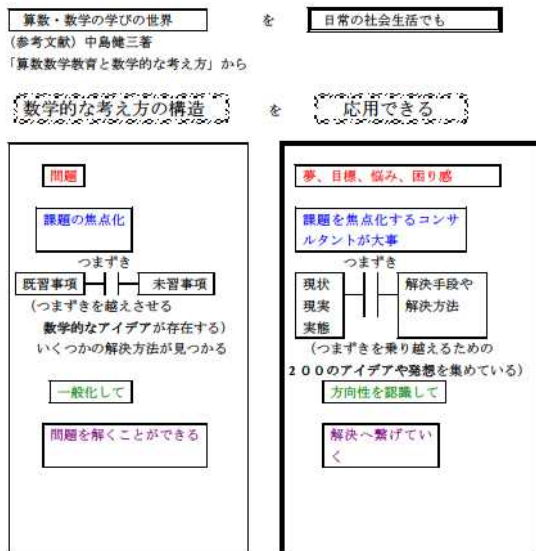
すい例でいうとカツカレーは「カツ」＋「カレー」、商品開発は足し算という例えがあります。その応用でスマホは電話、インターネット、カメラという三つの機能の足し算から生まれた商品と言えると思います。

#### 4. 背景となる考え方

私がアイデアルームでコンサルタントをする際の根底にある考え方がこれです。

学校における算数数学は、中島健三氏が進めてこられた「算数数学教育と数学的な考え方」が原点になっています。一言でいうと「必要感のある課題を数学的アイデアを活かして解決する」ということです。

コンサルタントを進める際に背景とする考え方



例えば分数のたし算を仕方を学ぶ過程で、3分の1は3分の2とできるとします。しかし、2分の1足す3分の1となると分母が違うのでこれまでのやり方ではできません。そこで2分の1を6分の3に、3分の1を6分の2に化けさせるアイデアをつかえば、足し算をすることができます。教科書では通分といわれています。私はこのような算数数学の解決の仕方は日常の社会生活でも応用できることに気がついたのです。そこで社会

生活で気づいたアイデアを何年かかかって250ぐらい集め、そこに表裏一体となっている数学的な考え方を分析し、他の課題解決にも使えるようにしました。今も日々発見に努め数を増やしています

## 集めた既存のアイデア



### 5 お勧めする数学的な考え方と具体例

今から、多くのアイデアの中にある潜在的な考え方のなかから、代表的なものを選び、具体例として紹介します。天草の方々が考えたアイデア・発想を活かして行きたいと考えたからです。これを

活かすと六割ぐらは切り口が見つかってきます。類似する全国の見つけたアイデアもあります。これらを活かして、課題に対して発想を試みたり、既存のアイデアから転用できるものはないか考えたりしていきます。今はニーズの多い分野ごとの対策編も作成しています。今は当たり前になりましたが、例えば、昨年三月から四月にかけて作成したコロナ対応編をはじめ、あと子育て編、事業展開編、セカンドライフ編、終活編などがあります。あとで紙面が許す範囲で紹介させていただきます。

それでは、まずお勧めする数学的な考え方について説明します。

#### ① 変換の考えで、対象・手段を変える

多くのアイデアの中でこの変換の考えが最も多く使われています。アイデアの内容は「〇〇に□□を活用する」と国語的な表現に

なります。〇〇にいろいろな対象、□□にいろいろな手段が入ります。身近な天草の例は天草五橋です。川に橋を架けるから島をつないで、海に橋を架ける発想です。この発想は当時画期的でした。本四架橋の先駆けにもなったといわれています。この考えには多くの具体例があり、困ったときはまず、このやり方を使うことをお勧めします。



## ② 絶対値の考えで、逆転の発想をする

絶対値というのは、数学ではマイナスもプラスにしてしまいます。世の中では逆転の発想として根付いています。天草で人気のイルカは当初マイナスの存在だったようですが、見事にプラスの観光資源になりました。

その際外国のホエールウォッチングが既存のアイデアとしてヒントになったようです。ハンディを反対に活かしていくアイデアは大きな力に繋がっていきます。



### ③ 前提条件を変えて、取組をする

天草悲願の世界遺産登録はまだ記憶に新しいと思いますが、私たちのイメージとして、建造物や自然に目が向きがちです。



つまり可視化できるものが前提にあったようです。しかし今回の登録は目には見えない信仰の歴史に ya

着目して取組がなされたと考える発想がよかったと思うのです。前提すら変えて災害の危機を乗り越えるアイデアが最近多く見られるようになりました。

### ④ 目的を転換して、結果より過程を重視する

コロナ禍で今は厳しい状況にあると思いますが、数年前に黒字経営に転換したことをまとめた「天草エアラインの奇跡」という本が話題になりました。この本には当時の吉村社長がテレビ「あまちゃん」で有名になった三陸鉄道の取組をヒントに、目的地行くというより、乗ること自体を目的にした天草エアラインにするという経営のアイデアが紹介されています。

### ⑤ 時間の座標軸を考え、時を工夫する

天草の早期米はコシヒカリの品種を導入する際に台風の時期をずらすことができるというアイデアによって導入されたといわれています。時を工夫するタイムビジネスは世の中に多く存在します。

### ⑥ 集合の考えで、集団より個を活かす

全国的に話題になった天草市企業創業・中小企業支援センター「アマビズ」ですが、導入される時にこんな話があったことを新聞で知りました。最初に研修を受けられた天草市の方が、「100人を雇用する企業の誘致もいいが、天草には100の企業だ」と思われたそうです。その発想が原点にあるのではないかと思います。集合と要素という数学がありますが、集団を出発点とするのではなく、個を出発点とするアイデアです。



⑦ 必要十分条件を考える時に、地域資源を活かす

長い間求め続けてきたボタンを天草陶石で作ることに気づいた井上ゆみさんという天草ボタンの創始者がいます。彼女は天草のよさをたくさん発見し、それをボタンで表現しています。



これは長い間必要感を持ち続けていたからこそ、それを満たす十分条件に出会えたのです。

#### ⑧ 同値変形の考えで、仕組みを転用する

これは十七年前から毎年実施されていたホテル便です。私はこのプロジェクトを始める時に。旧城河原小学校に勤務し、ホテルの里づくりを進める城河原振興会の皆様と企画、実行に携わらせていただきました。内容についてはご存じの方もおられると思いますが、

子どもと地域の方が前の日の夜にホテルを捕獲し、翌日の朝一番の福岡便で運んで、南福岡病院の小児病棟に届けるのです。このアイデアを出すときに、それより十年ぐらい前、残暑が厳しい夏に北海道から熊本に全日空の飛行機が鈴虫を運んだアイデアを覚えていて、それが構想の核になったのです。わかるや



いえば、仕組みを真似することです。

#### ⑨ 異なる世界の組み合わせを考え、ハイブリットする

全国でも有名な天草出身の鶴田一郎さんの美人画があります。私もファンの1人で、私なりのよさの捉えは、日本古来の顔に今流行している洋服であったり、間近になったイベントを象徴するような装いがうまく組み合わせられハイブリットしているからではないかと

思うからです。

⑩多面的な見方考え方でものの捉え方を変える 数学の立体の勉強は、多面的に物事を見る勉強ではないでしょうか。WANIMA の天草の乱のインタビューで強調された「天草のよさは天草を出てからわかった」というお話です。何気ない日常の暮らしの中によさは潜んでいると言われます。いろんな角度から物事を見ると潜在する宝が見つかり、アイデアもまた浮かんでくるの

⑪あまりを活かしてシェアリングする

⑫対称、平行、回転移動の考えで発想を変える ⑬相関関係で、付加価値を活かす

⑭補角を求めるように困り感を補う

⑮同値の考えで化けさせたり同じ舞台に乗せる ⑯異次元の世界に移行して課題を解決する

⑰拡張の考えで、ニーズに便宜を図る

ほかにも分析・整理して開発しています。

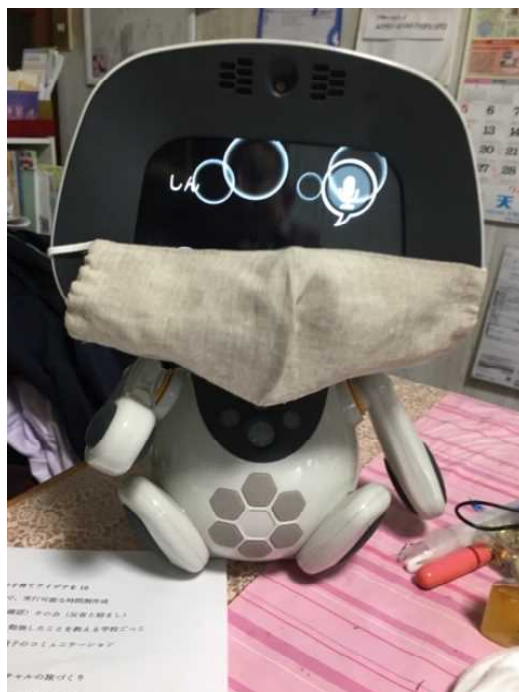
## 6 どのアイデアが使えるか

アイデアを発想するには前に述べてように五つのキーワードがあります。

課題を焦点化することが最も大事で、これが明確になって初めて数学的な考え方や既存のアイデアを活かすことができます。

どんな数学的なアイデアを使うかは選択して見つからないときは長時間孵化する時間が必要です。何年もかかることもあります。その際できれば伴走者が必要なのです。アイデアルームでは私が一緒に考えています。多少苦勞がいますが、思いついたときは何ともいえない喜びがあります。コツをつかめば誰でもできるようになると思います。

当ルームにはコミュニケーションロボット「しんちゃん」がいます。AIの一番の特徴は学習機能が優れていますので、これからそのあたりを活かしていく研究を続けていく予定です。普段は面談中に言葉を拾って反応することに使っています。





## 7 分野ごとの具体化

開設して一年半ぐらい経過してニーズが多異分野の対策編を作成してセミナーで活用しています。

### あなたの悩み(課題)を助ける数学的なアイデア 天草アイデアルーム

(悩み:課題)定年後のセカンドライフについて

お勧めする数学的な考え方とアイデア(既存も含めて)

- 1 変換の考えで 対象や手段を変える
    - ・ 現職時代のノウハウや専門性は残しながら対象とする方を変えたり、方法を変える
  - 2 絶対値の考えで 逆転の発想をする
    - ・ ハンディを活かす
  - 3 前提条件を変えて 取組をする
    - ・ 組織に頼るのでなく、しょばい起業もできる。
  - 4 目的を転換して 結果より過程を重視する
    - ・ セカンドライフの目標は夢を実現するというより、夢を持ち続け努力していく過程を楽しむ
  - 5 時間の座標軸を考え 時間を工夫する
    - ・ 組織に属するときにはできなかった時間の使い方を工夫する。
  - 6 集合の考えで 集団より個を活かす
    - ・ SNSの中に自分の居場所をつくり、自己実現の場の一つにする。
  - 7 必要十分条件を考えて 地域資源を活かす
    - ・ 地域で自分の自己実現ができる場はないか。
  - 8 同値変形の考えで 仕組みを転用する
    - ・ ビザスクなど事業展開のシステムを活用することも
  - 9 異なる世界の組み合わせを考え コラボする
    - ・ 違った世界との組み合わせで自己実現できないか?
  - 10 多面的な見方考え方で ものの捉え方を変える
  - 11 あまりを活かして シェアリングをする
    - ・ 自分に残されている資料などのなかから、他の方と共有できるものはないか考えてみる。
  - 12 対称、平行、回転移動で 発想を変える
    - ・ 立場を変えてみる。(場所を変えてみる……)
  - 13 相関関係で 付加価値を活かす
    - ・ 本業の目的以外の付加価値を探す  
(花を育てる、話を聞いてあげる、……悩むのではなく自分に何ができるか見つける)
  - 14 補角を求めるように 困り感を補う
    - ・ 自分が苦手なことは他の人の力を借りる(いろんな組織に)
- 4人の親のセカンドライフを見てきて、自分が大事だと思うことは
- ・ だれかの役に立つということ、必要とされること
  - ・ 死ぬまで続けて行きたい、追求して行きたいこと(日記、俳句、株、新聞、映画、鉄道……)
  - ・ お勧めする本



## コロナ対応に活かされている数学的な考え方

- 1 変換の考えで 対象や手段を変える
  - ・ いろんな会議や式で対象者を減らす、数を減らす
  - ・ オンライン（葬儀、宴会、マラソン）、メール、郵送、テイクアウト、出前、通販など手段を変える
- 2 絶対値の考えで 逆転の発想をする
  - ・ やむなくしなければならない外出自粛やテレワーク、休校の状況などで何ができるか？  
(大掃除、消毒、整理、断捨離、緊急時の準備……)
  - ・ 復習中心の家庭学習から予習中心の家庭学習切り換える
- 3 前提条件を変えて 取組をする
  - ・ 中止や延期など前提すら変える（大会、祭り、冠婚葬祭、不要不急の取組……）
- 4 目的を転換して 結果より過程を重視する
  - ・ コロナ収束が目的であるが、そのための過程自体を目的にする。（手洗い、うがい、withコロナ）
- 5 時間の座標軸を考え 時間を工夫する
  - ・ 時差出勤や登校、夏休みの変更、短縮、（曜日分散）
- 6 集合の考えで 集団より個を活かす
  - ・ 全国一律より地域、個の状況を出発点に判断基準を（経済対策、会員化、貸し切り）
  - ・ テイクアウトができるお店のネットデパート
- 7 必要十分条件を考えて 地域資源を活かす
  - ・ 人口が少ないこと（密集しない；接しない）自然と暮らす（喚気）
- 8 同値変形の考えで 仕組みを転用する
  - ・ 天草で行き場を失った養殖の魚を冷凍弁当にして売り出す取組が始められた
- 9 異なる世界の組合わせを考え コラボをする
  - ・ 会社、家庭、学校、自治体などの役割分担を見直し協力する
- 10 多面的な見方考え方で ものの捉え方を変える
  - ・ 残念だが、何が世の中で必要な仕事、もの、活動なか棲み分けされてしまった感がある。そこを冷静に受け止めてビジネスや取り組み方を考える
- 11 あまりを活かして シェアリングをする
  - ・ コロナで仕事なくなった人を人が足りない場で活かしたり、空いた宿泊施設や空き家などでコロナ対策（感染者の隔離、熊本のホテルでテレワークの宿泊プラン）で活かす
- 12 対称、平行、回転移動で 発想を変える
  - ・ 飲食店の先買い、働く場所を変える
  - ・ ドライブスルーや専用車のPCR検査
- 13 相関関係で 付加価値を活かす
  - ・ コロナ対策の健康管理で、自分の健康課題も取り組み、免疫力も高める
- 14 補角を求めるように 困り感を補う
  - ・ 何か物資や資源がなくなったら他の代用品が使えないか、手作りで補えないか（マスク、防護服）

あなたの悩み（課題）を助ける数学的なアイデア 天草アイデアルーム

(悩み：課題)

事業展開：needs編

お勧めする数学的な考え方とアイデア（既存も含めて）

- 1 変換の考えで 対象や手段を変える
  - ・ 通勤電車で指定席、退職代行サービス、水に浮かぶ家
- 2 絶対値の考えで 逆転の発想をする
  - ・ イルカウォッチング、ことごと列車、日本一寒い町
- 3 前提条件を変えて 取組をする
  - ・ 世界遺産 ・メニューがないレストラン ・予約がいない歯医者 ・トイレのカラーリング
- 4 目的を転換して 結果より過程を重視する
  - ・ 乗るための鉄道、飛行機 ・関門トンネルの歩道
- 5 時間の座標軸を考え 時間を工夫する
  - ・ ナイトエコノミー（岳南電車、姫路城の忍者、竹育まつり）
- 6 集合の考えで 集団より個を活かす
  - ・ 一万円選書、アマビズ、フリーランス、家庭菜園
- 7 必要十分条件を考えて 地域資源を活かす
  - ・ 天草ボタン、元号
- 8 同値変形の考えで 仕組みを転用する
  - ・ 冷凍弁当、読書通帳、おもちゃのレンタル制、ロボット
- 9 異なる世界の組み合わせを考え コラボする
  - ・ サンタクロースと聖地、自動車教習所と介護施設、
- 10 多面的な見方考え方で ものの捉え方を変える
  - ・ 定額制サービス、つめ放題
- 11 あまりを活かして シェアリングをする
  - ・ 部屋、駐車場、車、クラウドファンディング、ふるさと納税
- 12 対称、平行、回転移動で 発想を変える
  - ・ キッチンカー、移動スーパー、テレワーク、オーナーと客が入れ変わる、エコアース
- 13 相関関係で 付加価値を活かす
  - ・ 理容室の椅子、
- 14 補角を求めるように 困り感を補う
  - ・ 目の見えない陶芸家、共同運行
- 15 同値の考えで、化けさせたり、同じ舞台に乗せる
  - ・ ミニ新幹線
- 16 異次元の世界に移行して課題を解決する。
  - ・ 共感、五感、特別感に
- 17 拡張の考えで、ニーズに便宜を図る
  - ・ 泊まれる本屋、夜行バスの個室
- 18 必要感に訴えてニーズを拾う
  - ・ SNSで、セミナーで、口コミで（お勧めの本は起業1年目の集客の教科書）

あなたの悩み（課題）を助ける数学的なアイデア 天草アイデアルーム

(悩み：課題)

介護・終活編

お勧めする数学的な考え方とアイデア（既存も含めて）

- 1 変換の考えで 対象や手段を変える
  - ・ 空き家バンク、農地バンク、森林バンク、森林組合への委託
- 2 絶対値の考えで 逆転の発想をする
  - ・ 終活をすることで、日々の生き方が変わってくる。
- 3 前提条件を変えて 取組をする
  - ・ 終活信託業務に
- 4 目的を転換して 結果より過程を重視する
  - ・ 介護をするなかで自分のこととして学ぶことは多い。
- 5 時間の座標軸を考え 時間を工夫する
  - ・ あと〇年と考えるか？まだ〇年あると考えるか？
- 6 集合の考えで 集団より個を活かす
  - ・ 個性を活かして終活でも自己実現を
- 7 必要十分条件を考えて 地域資源を活かす
  - ・ 居場所があるところはどこか？
- 8 同値変形の考えで 仕組みを転用する
  - ・ 遺品整理にメルカリオークション
- 9 異なる世界の組合わせを考え コラボする
  - ・ 一般居室と介護居室のある有料老人ホーム
- 10 多面的な見方考え方で ものの捉え方を変える
  - ・ 介護はだれがすると決めるのではなく、シェアリング、共同運行を
- 11 あまりを活かして シェアリングをする
  - ・ 余った部屋、余った農地、山林をいかに再利用するか。
- 12 対称、平行、回転移動で 発想を変える
  - ・ トランクルームの活用
- 13 相関関係で 付加価値を活かす
  - ・ 病気療養の中で必ず付加価値を見つける。
- 14 補角を求めるように 困り感を補う
  - ・ 目が見えない陶芸家の例
- 15 同値の考えで、化けさせたり、同じ舞台に乗せる
  - ・ AIロボットの活用、話相手に
- 16 異次元の世界に移行して課題を解決する。
  - ・ 薩長同盟をする際の切り口
- 17 拡張の考えで、ニーズに便宜を図る
  - ・ 介護、サポートする人に最大限の配慮をする。
- 18 その他

悩み（課題）をサポートする数学的なアイデア 天草アイデアルーム

|                    |
|--------------------|
| (悩み：課題)<br>子育て編( ) |
|--------------------|

- 1 変換の考えで 対象や手段を変える
  - ・ 一点突破という教育手法がある。全部を計画的に万遍なくすることもよいが、ある教科、ある分野をまず克服することから始める。選択させるのも1つの仕掛けである。
- 2 絶対値の考えで 逆転の発想をする
  - ・ 思うようにいかなかった経験、苦手意識を成長や飛躍の原動力にする。
- 3 前提条件を変えて 取組をする
  - ・ ノートを持ち込んでいい定期テストを実施している中学校がある。覚えることだけが勉強ではない。
  - ・ 校則がない学校もある。
- 4 目的を転換して 結果より過程を重視する
  - ・ 子どもに将来の職業を決めさせるのは変化していくし、決めること自体が難しい。自分で決めるまで関わってやることを目標にしたほうがいい。不登校や引きこもりの対応も同じである。
- 5 時間の座標軸を考え 時間を工夫する
  - ・ 計画、スケジュールを決めるのが理想だが、始めと終わりはミーティングをしないと実行できなくなる。
- 6 集合の考えで 集団より個を活かす
  - ・ 決まった内容を全員にというのが、学校の制度、個に応じて、性格や特性を活かしてやることは家庭が考えてやらなくてはならない。
- 7 必要十分条件を考えて 地域資源を活かす
  - ・ その地域ならではの風土や伝統、その地域にしかできない教育をしていくこと。
- 8 同値変形の考えで 仕組みを転用する
  - ・ 読書通帳が全国の図書館で成果を上げている。(読んだ本の名前、ページ数、代金などを記録していく。)
- 9 異なる世界の組み合わせを考え コラボする
  - ・ 子どもの特技は、1つだけを見るのではなく、2つの小さな特技をハイブリッドすると大きな特技になる。
- 10 多面的な見方考え方で ものの捉え方を変える
  - ・ 怖い先生は何かと煙たがられるが、怖い先生がいて優しい先生の持ち味も発揮される。
- 11 あまりを活かして シェアリングをする
  - ・ あまっている部屋、紙、道具、材料、服、で何か作れないか？できないか？
- 12 対称、平行、回転移動で 発想を変える
  - ・ 平行移動で場所を変えてみる。(図書館で、塾で、学校、家庭以外の場所で)
  - ・ 親子関係、師弟関係、回転して立場を逆にと効果があるときがある。
- 13 相関関係で 付加価値を活かす
  - ・ ノートをまとめる。ICTを活用するなど付加が伴う活動を活かす。
  - ・ Twitterを使った学習法
- 14 補角を求めるように 困り感を補う
  - ・ 困り感は他の力を活かすと補うことができる。(目が見えない陶芸家の例)
  - ・ 勉強をしないという悩みには①ルーティンを作る②モデルを設定する③当たり前のことをほめてあげる
  - ・ ゲーム依存には①その世界を知り同じ目線で話し合う②仲間がいるからやめられない③他に打ち込めるものを

## 8 事業紹介

事業内容は三つあり、個別相談が中心です。予約をしていただければ、日程を調整して時間を設定します。場所は基本的に天草アイデアルームで行いますが、希望があればオンライン面談や天草市の複合施設ここらすの交流スペースでも行っています。遠方の方とはSNSやメールでのやりとりでも行っています。

まず、悩みや課題をお聞きして、焦点化をします。そして一緒にアイデアを考えるのですが

その際いろんな数学的なアイデアを紹介し、孵化できるまで、伴走者としてサポートしていきます。

二つ目はセミナーの実施です。天草まちゼミには毎回参加して市民の方が来てくださいます。また、ニーズがあった研修会などで私の取組の概要やアイデア発想法、お勧めする数学的な考え方や既存のアイデアを紹介させていただいています。

三つ目はSNSでの発信です。

日常や社会生活の気づきやトレンド内容について、アイデアを紹介しながら、より多くの方の悩みや課題解決の参考になれ



るように努めています。

今はフェイスブックとツイッターで発信していますが、おかげで友達やフォロワーが増え、日々多くの方に読んでいただけるようになりました。

## 9 終わりに

当ルームを開設してから1年半が立とうとしています。道なき道を歩いていますが、その間、いろんな方から話を聞かせていただき、また私からも話をさせていた

できました。この事業を進めていくにはいろんな知識や情報も必要になり、勉強させられることばかりです。

どれだけ、訪問者のお役に立てているのか、また、どうしたら新たなニーズを拾うことができるのか、試行錯誤の毎日ですが、日本のあちこちからニーズが出てきて、それにふさわしい数学的なアイデアを考えて一緒に伴走するのが私の夢です。

人間は自分が考えたことを実行するときが一番やりがいを感じると言われます。皆さんが壁にぶつかられた時に、それを乗り越えられる手段の一つにしていただければ幸いです。